

Zun 寸 dō 洞

目 次

新入生のための図書館利用案内 1 館蔵資料紹介 No 27 看護の歴史と倫理に関する書籍の紹介 足立みゆき 3	電子ジャーナルの機能紹介 5 校費複写機利用カードが変更になります 6 開館日・開館時間変更のお知らせ 6
--	---

新入生のための図書館利用案内

必要な資料を、必要な時に、必要な人に

日頃から図書館を利用し、資料の調べ方・場所・利用手続きに慣れていれば、急に必要な時にも役立ちます。また、使えば使うほど、どのように調べてどこに資料が配架されているかがわかり、利用しやすくなります。大学生活の中で、図書館が有意義で、大きな役割を果たすことでしょう。

開館日・開館時間

月 金曜日	9 : 00 - 21 : 30
学休期間の月 金曜日	9 : 00 - 17 : 00
土曜日	10 : 00 - 16 : 00
試験期間の日・祝日	10 : 00 - 16 : 00
休館日	
第2火曜日（7月・2月を除く）	
日曜・祝日（試験期間を除く）	
学休期間の一部土曜日	
年末年始（12月28日 1月4日）	

資料の配架場所

図書：和書：3階・1階
 洋書：積層4階・1階
 雑誌：新着2階
 製本：2階・積層2 - 3階・1階

*OPACで検索し、所在場所・請求記号をメモして、所定の場所へ

3階・シラバスコーナー・留学生用図書コーナー
 医・学生用図書コーナー・集密等

貸出・返却

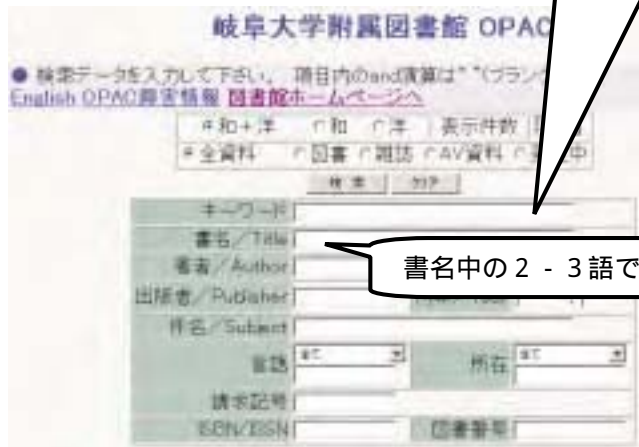
自動貸出返却装置で手続きができます。
 カウンターでもできます。

貸出冊数：学生5冊 院生7冊
 貸出期間：2週間
 予約：貸出中の図書の予約ができます。



資料の検索

書名・著者・出版者等の用語

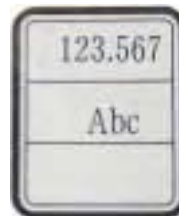


書名中の2 - 3語で検索

- * 分類・配架位置がわからない図書、異なる分類・別の場所に配架されている図書も検索により一覧できます

資料の配架順序

図書：本の請求記号順（背ラベル）



分類番号

著者記号

雑誌：和雑誌：主題毎の五十音順
洋雑誌：主題毎のアルファベット順

ホームページの活用

<http://www.gifu-u.ac.jp/~gulib/>

図書館で所蔵する資料及び他の大学図書館・県図書館等で所蔵する資料の検索

図書館ニュース

電子ジャーナル・オンライン文献検索等の情報アクセス

その他図書館・文献等関連情報のリンク窓口



- * 使用した資料は必ず**正しい位置**に戻してください。皆が利用する図書館です。**正しい位置にないと資料が見つけれません。**

- * 携帯はマナーモードで。会話は館外で、メールはOK

- * **飲食禁止**

- * 「立つ鳥跡を濁さず」机上・足元はきれいですか？

複写

カウンター受付：

月 金曜日 17：00まで

プリペードカード(生協で事前に購入)：

開館日の閉館15分前まで

- * 図書館内での複写は図書館資料に限定

インターネット・メール・レポート作成

図書館2階でインターネット・メールができます。レポート作成もできます。

- * **印刷不可** 印刷は総合情報メディアセンター等で



館蔵資料紹介 No. 27

看護の歴史と倫理に関する書籍の紹介

足立 みゆき



私が岐阜大学看護学科に赴任して3年が過ぎようとしています。この3年の間に図書館に足を運んだ回数はそう多くはありません。また、図書館に行っても準備したリストに載っている文献をコピーしたらすぐに図書館を後にすることがしばしばです。子供のころは読んで、読んででもまだ知らない本がある、まだ知らないことがあることに魅力を感じ図書館にすることが結構楽しかった記憶がありますが、学校を卒業し社会人になってからは目の前の現実だけに関心が向いてしまい徐々に図書館に足を運ぶことが少なくなっていったのだと思います。今回、蔵書を紹介させていただけることを機に、久しぶりにゆっくりと本に向き合うことにしました。

看護あるいはナースというと「白衣の天使」といった印象が強いようです。実際に、テレビなどでも医師については医療の中で大きな権力を握っている姿が描かれるのに対し、ナースは従属的立場が強調されています。なぜナースにはこうしたイメージしかもたれないのでしょうか。ナースがどのように見られてきたのかレリーフや絵画、写真などをもとに紹介している本を読んでみるととても興味深いことが書かれています。

古代の世界では看護は専門的な活動とは考えられていませんでした。医師は男性で病人の治療をし、出産と新生児の世話を女性の産婆が担っていた様子がレリーフとして残されています(図1)。

医師と産婆以外で人の世話をしているのは乳母でした。産婆は専門家としての扱いを受けていたようですが

乳母の地位は常に従属的で専門化する兆候はありませんでした。中世後期になって、女性が自分の家の者以外の病人に宗教的、社会的地位を高めるために身の回りの世話をする姿が描かれるようになってきます(図2)。

このような行いは宗教との関係が深く、医師とは異なる独立した立場であったようです。しかし17世紀になると、カトリックとプロテスタントが分裂し宗教と医療、看護との関連が薄くなりました。そのため世俗的な男性医師が増加し、出産ですら医師による帝王切開が行われ男性医師が進入してくるようになってきます。そして、産婆の資格を得るための教材にも産婆は医師に従わなければならないといった内容が含まれることになるのです。

1700年以降になると看護は宗教から離れ、労働となり専門化していきます。そして、「ランプを持った淑女」フローレンス・ナイチンゲールが登場してきます。ナイチンゲールはその功績により近代看護の母とよばれるようになります。しかしナイチンゲールは白一色の白衣を身に付けていたわけではありませんでした。「白衣」をまとうようになった原因は明確ではありませんが、ナイチンゲールの伝記映画「白衣の天使」(図4)でそのイメージが強固なものとなり21世紀になったいまなお根強く残っているようです。

21世紀を迎え、超高齢化に伴う保健制度の改革、医療技術の急速な進歩、新たな治療方法の開発等看護を取り巻く環境は大きく変化しました。その変化に対応するために、ナースには広く、高度な知識と技術が求められるようになります。そのため、大学教育の必要性が高



図1(左) ローマ出産場面のレリーフ。2世紀
(「看護婦はどう見られてきたか 歴史、芸術、文学におけるイメージ」p15より抜粋)

図2(右) ラインライトの無名の画家の作。貧しい人々に服を与え病人を世話する聖エリザベート。病人への世話の一部。14世紀。
(「看護婦はどう見られてきたか 歴史、芸術、文学におけるイメージ」p27より抜粋)



図3(左) ジョセフ・A・ベンウェルの「スクタリのフローレンスナイチンゲール」。19世紀。
(「看護婦はどう見られてきたか 歴史、芸術、文学におけるイメージ」p40より抜粋)

図4(右) 白い服を着た フローレンス・ナイチンゲール(ケイ・フランシス)。「白衣の天使」より。
(「看護婦はどう見られてきたか 歴史、芸術、文学におけるイメージ」p271より抜粋)

まり、ここ10年で看護系大学は119校にまで増加しました。そして、看護は看護学という学問であると同時に実践の科学であることが強調されるようになりました。経験的にやってきたことを踏襲するのではなく、エビデンスに基づいた判断によるケアを行わなければならないからです。そしてケアの中心となるのは当然患者です。患者にとって最善のケアを提供することが専門職であるナースに求められているからです。

しかし、今ここで書いたことを実際に臨床で行うのは容易なことではありません。その理由について、詳細な分析をしている本を紹介します。ダニエルF・チャンプリス著、浅野祐子訳「ケアの向こう側 看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾」です。

この本は、病院でフィールドワークを行い患者や医療者に起こっていることを目の当たりにしたことをもとに書かれています。目的は「ナースが日常業務の中で倫理的問題をどのように捉え、対処しているかを、詳細に、かつ弁護できる程度の一般化をもって記述すること」です。

第1章は、「ナースの世界、すなわち病院は、一般社会とは全く異なる道徳システムを持っている。病院では悪人ではなく善良な人がナイフを持ち、人を切り裂いている。そこでは善人が、人に針を刺し、肛門や膣に指を入れ、尿道に管を入れ、赤ん坊の頭皮に針を刺す。また、善人が泣き叫ぶ熱傷者の死んだ皮膚をはがし、初対面の人に服を脱ぐよう命令する。」といった衝撃的な言葉で始まり、「一般人にとって身の毛のよだつ残酷物語もここでは専門家の商売なのだ。」と続いています。確かに病院は一般の生活とは異なる独特の世界があります。しかし次第にそれが普通のこととして「日常化」され、業務は「ルーチン化」されていきます。チャンプリスはこの「ルーチン化」とともにナースの感情は平坦化し、そこで生じる出来事に対する感受性も失われていくと述べています。患者さえもそのルーチン化に含まれていきます。患者は人としてではなく、一つのケースとしてしか認識されないようになるのです。その結果、ナースは患者に生じる多くの倫理的問題、道徳的問題を認知しなくなっていくのだと分析します。しかし、倫理的問題こそナースが積極的に関わっていくべき必要があるはずです。なぜなら、ナースは患者を擁護する立場にあるからです。アメリカでも、アメリカ看護師協会(American Nurses Association)による「看護師の倫理綱領(Code of Ethics for Nurses)」にそのことが明記されています。チャンプリス自身もナースが患者を擁護する立場にあるということを知っています。ではなぜ、ナースは患者の倫理的問題を認知しなくなっていくと言うのでしょうか。そもそもこの本の目的は、ナースが倫理的問題をどう捉え、対処していくのかを明らかにすることでした。しかし、やはりそこには社会学者としての鋭く深い

分析がありました。

チャンプリスは医療の中におけるナースの立場を詳細に分析しています。ナースは病院職員の中でも特殊な存在です。その理由は、(1)思いやりのある(caring)人間であり、(2)専門的職業人であり、(3)組織内では比較的従属的な立場のメンバーである、ということと同時に満たすことを期待されているというのです。(1)(2)は比較的すんなりと受け入れることができますが、(3)については疑問を感じる人がいるかもしれません。ナースは病院とは雇用関係にあるため、病院の規律に従い、特定の管理者の指示のもとで多くの業務を行わなければならない。決められたシフトで勤務し、指示された処置や薬を投与します。もちろんナース独自の判断で、ケアを行うこともあります。それは状況次第です。その根本的原因是、ナースには決定権がないことです。当然、決定権がないのですから患者にとってどちらを選ばよいかといった倫理的ジレンマは感じることはありません。ジレンマというのはどちらかを選ぶことを決定する権利があるからこそ生じるのです。ではナースが倫理的ジレンマだと感じていたことは何なのでしょう。昔と異なり責任の分散化が進んだ現在の医療環境では、倫理的問題はその問題に責任をもつそれぞれの集団間の争いに発展し、実践的な問題が政治的問題として議論を要するようになり、最終的な責任主体は人間ですらなくなり組織や社会制度全体になってきていることまで鋭く指摘しています。

この本は、1979年～1990年のアメリカの病院でのフィールドワークによって得られたデータをもとに分析されています。この本を読んで最初に感じたことは、時代的には多少現在の状況と変わるのかもしれないが、アメリカのナースも日本のナースと同じようなことを感じているんだということとでした。そして、看護と倫理との関係に関心が高い私にとって職業としての看護と倫理的問題との関係を組織までも含めて構造的な分析がなされているこの本は大きな示唆を与えてくれました。

私の稚拙な文章ではこれらの本の魅力を十分にお伝えできていないのが残念ですが、少しでも興味のある方は是非これらの本を手にとってじっくりと読んでみていただければと思います。

文献

- * A .H .ジョーンズ 編著 中島憲子監訳
「看護婦はどうみられてきたか 歴史、芸術、文学におけるイメージ」 時空出版 1997
- * ダニエルF .チャンプリス著、浅野祐子訳
「ケアの向こう側 看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾」 日本看護協会出版会 2002

(あだち みゆき : 医学部助手)

電子ジャーナルの機能紹介

本学と契約中の各電子ジャーナルの中で契約金額が最も高いエルゼビア社のサイエンス・ダイレクト (Science Direct 以下, SD) の講習会を, 平成17年1月26日 (水曜日) に開催しました。サイエンス・ダイレクト認定トレーナーの松山裕二氏 (ゼファー株式会社) を講師に招き総合情報メディアセンター3階演習室にて午後3時から約140分間行われました。

SDの機能の中には, 電子ジャーナルを単にブラウズするだけでなく, 雑誌の最新号コンテンツを利用者自身の電子 Mail アドレス宛に配信するアラート機能があります。この機能は, SD 以外の Springer-Link 等の電子ジャーナルでも利用できますので是非ご活用ください。

ユーザ登録

アラート機能の利用は, あらかじめユーザ登録 (無料) が必要です。Register をクリックして登録画面に進んでください。Springer Link 等でも同様の登録画面で登録が行えます。

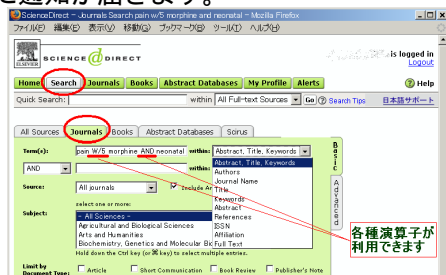


アラート機能

ユーザ登録以降は, ID, パスワードによりパーソナルログインができ, 指定した E-mail アドレスに新着コンテンツ等の情報が届くように各アラートの登録ができます。

Search Alerts

登録した検索式にマッチする論文が SD に搭載された時に通知が届きます。



検索の単語間に以下の演算子等を用いることで, よりの確に目的の論文を検索できます。

論理演算子: AND (論理積), OR (論理和), AND NOT (論理差)

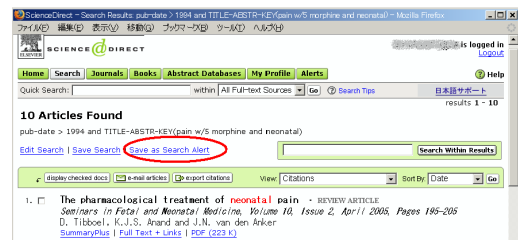
近接演算子: W/n (単語間に n 語までの語数指定), PRE/n (単語間に n 語までの語順指定), W/S (同一文中に限定), W/P (同一段落に限定), W/SEG (同一項目に限定)

フレーズ検索: 引用符で囲う "salicylic acid"

前方一致検索: 感嘆符を語尾に付ける behav!

特殊文字: H₂O H 2 O ,100 100 degree c, α al-pha, fürst furst

目的の論文を探す検索式が出来上がれば保存してください。



Citation Alerts

指定した論文が, SD 上の他の論文に引用された時に通知が届きます。(何処の所属の誰がどの雑誌のどのような論文で引用したかを把握できます)

Volume/Issue Alerts

指定した雑誌の新しい巻号が SD に搭載された時に通知が届きます。

Topic Alerts

特定のトピックの関連論文が SD に搭載された時に通知が届きます。

アラート以外の主な機能

MEDLINE (無料)

検索画面の「Abstract Databases」では, MEDLINE が利用できます。

Scirus (無料)

検索画面の「Scirus」は, 科学, 技術, 医学に特化した学術専用検索エンジンで, 科学関連 Web ページだけを対象に検索できます。

ハイパーリンク

SD 本文の中には様々なハイパーリンクがあります。例えば, 論文の中の DNA 配列番号 (DNA sequence number) のハイパーリンク先は, US National Institute of Health のデータベースです。(GenBank Linking)

化学物質関連データベースへのリンクの一部については, 無料ソフトをダウンロード (http://www.mdl.com) することで化学構造式の画像データを見ることが出来ます。(Dynamic Metadata On Demand Linking)

その他

Favorite ジャーナルリスト作成等その他の機能が SD 以外の電子ジャーナルについては, 図書館ホームページ内の以下の URL 等をご覧ください。

http://www.gifu u.ac.jp/~gulib/ej.html

http://japan.elsevier.com/sdsupport/

利用上の注意

電子ジャーナルの利用の際は, 各提供元が定めた利用規約を遵守してください。概ね以下のことは共通して禁止されていますので絶対に行わないでください。

- 1 ダウンロードソフト等による論文の大量ダウンロード。
- 2 ダウンロードした論文を個人の学術研究および学習以外の目的で使用すること。
- 3 ダウンロードした論文を複製したり第三者へ再配布すること。

校費複写機利用カードが変更になります

図書館の校費扱い複写機の利用カードが、番号別集計方式の現カードからチャージ式プリペードカードに変更になります。

カードは、別途お配りいたしました申込書により3月28日以降発行いたします。

チャージ式ですので、ご使用中のカードにコピーカウントの残がありましても申請していただければ任意のコピー枚数を追加することが出来ます。

新規カードの種類は、100枚用、300枚用があります。いずれも最初は、カード原価をご負担願います。

コピー料金は、モノクロは従来どおり11円/枚ですが、カラーは、55円/枚に値下げになります。

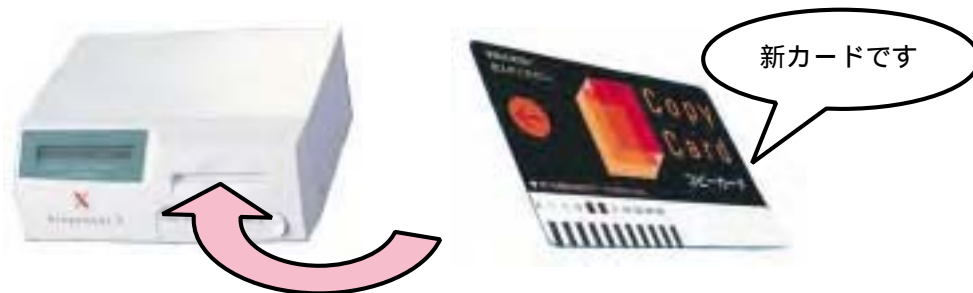
詳細については、学術情報係（内線2192）までお問い合わせください。

移行日程

平成17年3月28日まで 現行どおり（磁気カード）



平成17年3月29日以降 チャージ式プリペードカードに変更：磁気カードご返却ください



開館日・開館時間変更のお知らせ

平成17年度から、開館日・開館時間が変更になります。

月～金曜日	9：00	<u>21：30</u>	学休期間の一部土曜日	休館
学休期間の月～金曜日	9：00	17：00	7月・2月以外の第2火曜日	休館
土曜日	10：00	16：00	日曜・祝日、年末年始	休館
試験期間の日曜日	10：00	<u>16：00</u>		

* 下線部分が変更

開館時間・休館日は、「図書館利用案内」又は「開館カレンダー」、ホームページをご覧ください。
また、臨時休館についてはその都度掲示等でお知らせしますので、予めご了承ください。